

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係る検討タスクフォース（第2回） 議事要旨

1 日時：令和4年9月1日（木）13:00-15:00

2 場所：筑波大学東京キャンパス会議室及び Web 会議システム

3 出席者（敬称略）

<座長／プログラムディレクター（PD）候補>

久野 譜也 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授・筑波大学スマートウエルネスシティ政策
開発研究センター長

<サブプログラムディレクター（SPD）候補・有識者>

二瓶 美里 東京大学大学院新領域創成科学研究科・高齢社会総合研究機構准教授・SPD 候補

松島 みどり 筑波大学人文社会系准教授・SPD 候補

井上 剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所福祉機器開発部長・SPD 候補

大津 欣也 国立研究開発法人国立循環器病研究センター理事長・SPD 候補

目崎 祐史 セコム株式会社 IS 研究所長

<関係省庁>

高江 慎一 厚生労働省大臣官房厚生科学課研究企画官

廣瀬 大也 経済産業省商務・サービスグループ医療・福祉機器産業室長

<研究推進法人>

古賀 紳介 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略企画部戦略企画課長

藤田 りつ子 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略企画部戦略企画課プロジェクト推
進専門員

前田 真治 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略企画部産学官調整専門員

川本 悠太郎 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所戦略企画部産学官調整専門員

<事務局>

廣田 光恵 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（人・暮らし担当）

植木 健司 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（SIP 担当）

赤星 里佳 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（人・暮らし担当）付参事官補佐

荒木 大悟 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官（人・暮らし担当）付行政実務研修員
株式会社日本総合研究所

株式会社 NTT データ経営研究所

※石山麗子構成員（国際医療福祉大学大学院医療福祉経営専攻先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
教授）および山田大輔構成員（国土交通省都市局まちづくり推進課国際競争力強化推進官（併任）官民連
携推進室長）は欠席。

4 議題

- (1) 検討タスクフォースの構成員の追加について
- (2) フィージビリティスタディ (FS) の調査分析機関について
- (3) フィージビリティスタディ (FS) の実施方針について
- (4) その他

5 配布資料

資料 1 次期 SIP 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係る検討タスクフォース開催要領

資料 2 次期 SIP 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係るフィージビリティスタディ (FS) の実施方針 (案)

資料 3-1 再委託提案書① (久野 PD 候補担当部分)

資料 3-2 再委託提案書② (久野 PD 候補担当部分)

資料 3-3 再委託提案書③ (二瓶 SPD 候補担当部分)

資料 3-4 再委託提案書④ (松島 SPD 候補担当部分)

資料 3-5 再委託提案書⑤ (井上 SPD 候補担当部分)

資料 4 次期 SIP 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係るフィージビリティスタディ (FS) の実施方針 (Ver. 2.0) (案)

参考資料 1-1 次期 SIP に向けた利益相反マネジメントポリシー

参考資料 1-2 次期 SIP の FS における利益相反マネジメント規則

6 議事要旨

議題 (1) について、資料 1 に基づき、事務局から構成員に有識者として目崎祐史 セコム株式会社 IS 研究所長が加わることにについて説明があった。

議題 (2) について、研究推進法人から FS の調査分析機関として株式会社日本総合研究所に業務委託することに決定したことについて説明があった。

議題 (3) について、資料 2 に基づき、久野 PD 候補から FS 全体の実施方針について説明があった。目崎構成員より、本 FS にて取り扱う「プラットフォーム」という言葉について、その定義が不明瞭ではないかという意見があり、次回の TF にて「プラットフォーム」や「社会技術」の定義をオーソライズしていくこととなった。また、資料 3 に基づき、各課題における調査分析の一部について、専門的知見の必要性やデータベースへのアクセス権限を踏まえ、株式会社日本総研から別の機関へ再委託することについて提案があった。利益相反マネジメント規則に基づき、対象となる構成員について利益相反による問題の防止措置を講じた上で、検討 TF として決定した。続いて、資料 4 に基づき、事務局から FS の実施方針についてスケジュールや体制の変更等を反映して改訂することについて説明があり、検討 TF として決定した。

以 上